



# 日田・小野小、能登被災地を応援



応援メッセージを書いた土のう袋を持つ児童ら＝日田市鈴連町の小野小

# 土のう袋にメッセージ

【日田】能登半島地震の被災地を応援しようと、日田市鈴連町の小野小(22人)の児童が25日、現地で作られる土のう袋に励ましのメッセージを書いた。支援金と合わせて地元のNPO法人リエラ(松永謙矢代表理事)に託した。同校は2017年と23年の水害で被災。全国から受けた復興支援に対する恩返しを込めた。

子どもたちは17日、石川県の被災地で活動する松永代表理事(34)からオンラインで防災講話を受け、避難所の物資不足など現状を知った。「自分たちができることを考えよう」と各家庭に呼びかけ、支援金5万2652円を集めた。リエラが現地に持参する土のう袋22袋に、応援メッセージも書くことにした。

## 「水害で助けられた恩返し」



土のう袋にイラストを描く児童

25日、児童は袋に「体に気を付けて」「大分県から応援しています」「地震に負けるな」などと書き込んだ。ウサギやパンダなどのカラフルなイラストも添え、松永代表理事に手渡した。

6年の柳瀬成瑠君(12)は「私たちも水害でたくさん助けてもらったので、少しでも恩返しをしたい。石川県の皆さんが無事に過ごせることを願っている」と話した。

土のう袋はリエラが活動する能登町で活用する。支援金は必要物資の購入などに充てる予定。(刀根徹朗)

